

Appendix 5 サイエンスマップ活動状況シート(個別大学等)

1. サイエンスマップ活動状況シート(個別大学等)とは

サイエンスマップ 2012 をベースに、日本の個別大学等の活動状況をオーバーレイさせることにより、それぞれの大学等の強みをモニターすることができる。

今回の調査では、以下の条件のいずれかに含まれた日本の大学等(大学共同利用機関、その他を含む)について、これらの大学等がサイエンスマップ 2012 のどの研究領域に参画しているかを可視化した「サイエンスマップ活動状況シート」を作成した。

- ① 調査資料-213 研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング 2011(2012年8月公表)にて、調査対象となった 2002-2011 年の論文数が 1,000 件以上の大学である 128 大学の場合。
- ② サイエンスマップ 2012 において、当該大学等の論文が、研究領域のコアペーパーに 1 件以上含まれており、かつ、研究領域のサイティングペーパー(Top10%)において 10 以上の領域において含まれている場合。

なお、本 Appendix の情報については下記サイトにて電子媒体をダウンロードすることができます。また、データの取り扱いや出典の記述方法についても下記サイトをご確認ください。

文部科学省 科学技術・学術政策研究所

サイエンスマップ 2010&2012

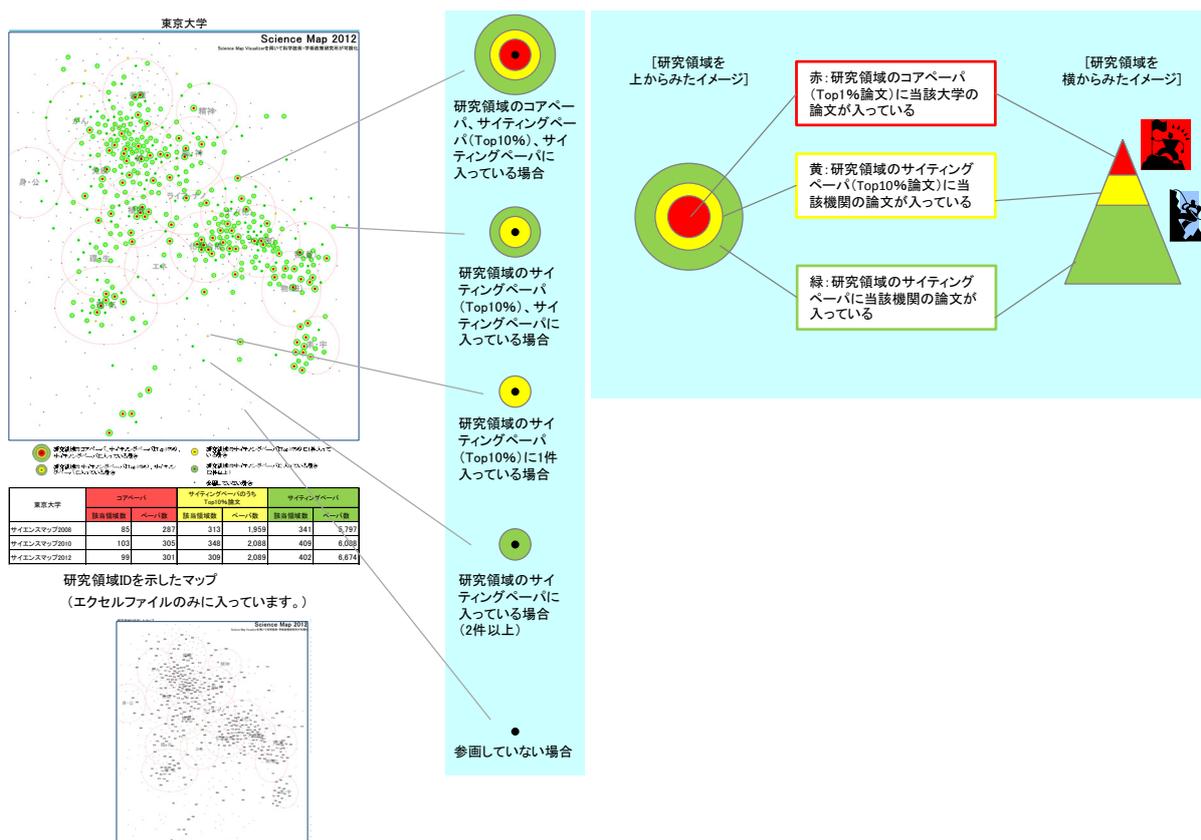
<http://www.nistep.go.jp/research/sciencemap>

〈「サイエンスマップ活動状況シート」を見るポイント〉

- 研究領域をリードしている論文(コアペーパー)は、どの程度あるか? ある場合は、どのような研究領域群に含まれる研究領域なのか?
- 研究領域をフォローしている論文(サイティングペーパー)には、どの程度あるか? ある場合は、どのような研究領域群に含まれる研究領域なのか?
- 参画している領域は、サイエンスマップ上、ある程度固まっているのか? 散らばっているのか?
- 比較対象機関のシートと比較をしてみると、参画している研究領域数や、該当論文数はどのような差があるか?
- 比較対象機関のシートと比較をしてみると、参画している領域の配置にどのような差があるか?

ただし、本調査分析で見えてきたように研究領域にはコアペーパー数にもばらつきがあり、また Sci-GEO チャートによる研究領域タイプにも4種類があるので、それらも勘案し比較を行うのがよいだろう。

Appendix5_figure 1 「サイエンスマップ活動状況シート」の見方



(注) サइटリングペーパーについては、2件以上該当する場合のみマークを行った。

